

進捗状況の概要

食と観光で世界を魅了する「かごしま」の地元定着促進を図るために行った平成 27 年度の事業実績は、以下のとおりである。

1) 地元産業界のニーズを踏まえた学卒者の地元就業率向上につながる教育改革の推進

鹿児島大学では、地域志向人材の育成を目指す「かごしまキャリア教育プログラム」(COC+教育)を平成 28 年度から実施するための取組として、①初年次開講の「地域就業キャリアデザイン」のシラバス及び履修案内の作成、②既存科目の精査による「地域マインド科目群」と「地域就業力科目群」のピックアップなど COC+教育を構成する科目群を整備した。また、③受講生確保に向けた学生用説明パンフレットの作成を行うとともに、平成 28 年 4 月の説明会の開催計画等の検討を行った。さらに、アクティブ・ラーニングを中心に据えた COC+教育を展開するための教室整備と講義収録システムの導入等を行った。COC+参加校では、平成 28 年度に実施する地域志向教育プログラムの構築やキャリア教育の改善充実に向けて検討した。

2) 参加大学の知と地域の特色を活かした新規雇用創出と既存雇用拡大

鹿児島大学では、新規雇用創出と既存雇用拡大による学卒者の地元就職率の向上を図るための基礎資料として、事業協働地域における産業界等の求人ニーズ調査と産業動向調査を行った。そこでは、鹿児島県の重点戦略分野と連動した観光、食品、再生可能エネルギー、バイオ産業関連を中心に調査した。これらの調査結果を基に、地域志向教育の充実、地元企業でのインターンシップの拡充、地元就職支援の強化、その他学卒者の地元定着につながる取組の実施方針や実施計画を策定した。

COC+参加校においては、鹿児島国際大学が、南大隅町との連携協定を、西之表市及び鹿児島相互信用金庫との地域活性化共同事業に関する覚書を締結した。また、鹿児島大学とともに、鹿児島商工会議所との間で、地方創生等に関する包括連携協定の締結に向けた協議を行った。第一工業大学は、誘致企業等との交流会を開催したほか、農業の 6 次産業化を推進するために「JA あいら」との連携協定を締結した。鹿児島工業高等専門学校では、日置市との連携協定を締結するとともに、地元会員企業 (KTC) との共同研究事例研究会等の開催を行った。このように、各 COC+参加校においても各大学の知を活かした新規雇用創出と既存雇用拡大につながる取組の実施方針や実施計画を策定した。

3) 地元就業率向上と持続的定着につながる事業協働機関の連携強化

COC+事業を「オールかごしま」で持続的推進を図るために、COC+推進コーディネーター (COC+CD) が中心になり、鹿児島大学に配置された教育プログラム担当教員、学生支援コーディネーター、専門職員等 (以上のスタッフは鹿児島大学固有の業務とともに事業協働機関全体の調整も担当する) と協力して、事業協働機関の連携協働の基盤となる「かごしま学卒者地元定着促進協議会」及び「COC+教育プログラム開発委員会」の設置・開催を行った。加えて、事業協働機関の連携協働を深めるために、COC+CD が主宰する COC+事業協働機関連絡会及び下部組織のワーキング・グループ (COC+参加大学等担当者会議及び県・企業団体等担当者会議) を開催した。COC+参加校の鹿児島国際大学では COC+推進副コーディネーターと事務補助員、志学館大学ではキャリア・サポーター、第一工業大学では事務補助員、鹿児島女子短期大学では COC+コーディネーターと事務補佐員を採用するなど、鹿屋体育大学と鹿児島県立短期大学も含め、COC+事業推進のための組織整備等を行った。

学卒者の地元就職支援策として、鹿児島大学は、鹿児島商工会議所と共催で「ふるさと就職トーク & 座談会」を開催 (平成 27 年 12 月) し、鹿児島経済同友会とインターンシップに係る打合せを行った。COC+参加校においても、地域の商工団体等との連携による模擬面接、合同企業説明会及び企業見学等を実施した。

また、本事業のキックオフシンポジウムを開催 (平成 28 年 3 月) し、事業協働機関の協働体制を強化するための決意表明を行うとともに、広く地元企業、自治体、県民に対して本事業の広報を行った。さらに、従来鹿児島商工会議所が主催してきた「合同就職面談会・就職講座」を、本事業が開始されたことに伴い、平成 28 年度は鹿児島大学において共催 (平成 28 年 6 月) することとした。